

# 新・こどもと健康

No.15

2018.4.2

**インフルエンザはほぼ終息しましたが、まだおられます。**

3月12日から18日の定点報告によると、大阪府の全ブロックでインフルエンザの警報レベル終息基準値の10.0を下回りました。ですが、同時期の堺市のインフルエンザの報告はまだ93例あります。さらに減ってきていると思いますが、0にはなっていません。

**全く新しい抗インフルエンザ薬「ゾフルーザ」が発売されました。**

「ゾフルーザ」はこれまでのタミフルやイナビル、リレンザ、ラピアクタと違うくみの抗インフルエンザ薬です。当初発売は5月頃と言われていましたが、3月14日に前倒しで発売になりました。1回飲めば、治療終了です。名前の由来は”XO”(ノックアウト、～がない)+”influenza”とのことです。塩野義製薬が創製し、世界に先駆けて日本で発売開始となりました。

既存の薬はいずれも、インフルエンザウイルスがヒトの細胞内で増えたあと、細胞外に出てくるのを邪魔する薬でしたが、ゾフルーザはインフルエンザウイルスがヒトの細胞内で増殖を開始するのに必要な酵素を邪魔する薬です。

インフルエンザ症状発現から48時間経過後に投与を開始した患者のデータはありません。これまで通り、可能な限り速やかに開始することが望ましいとされています。現在のところ、錠剤しかありませんので、体重10kg以上で、かつ、錠剤を安全に飲み込める必要があります。治験データの副作用は多そうにはありませんが、新規の薬であり、まだまだ症例数が少なく、今後思わぬ副作用が報告されてくる可能性はあります。また、予防投与はまだ認められていません。

10mg錠   
直径約5mm

20mg錠   
約8.5mm×4.4mm

12歳未満	体重10kg以上20kg未満	10mg錠1錠
	体重20kg以上40kg未満	20mg錠1錠
	体重40kg以上	20mg錠2錠
12歳以上	体重80kg未満	20mg錠2錠
	体重80kg以上	20mg錠4錠

ゾフルーザを飲むときは、水かぬるま湯が基本ですが、飲みにくいようであれば、組み合わせるといい飲み物や食べ物が挙げられています。

- ①オレンジジュース、②りんごジュース、③ぶどうジュース、④服用補助ゼリー、⑤アイスクリーム、⑥ヨーグルト、⑦プリン

## 少なくとも当科周辺ではヒト-メタニューモウイルス感染症が流行しています。

まだ聞きなれない方が多いと思います。比較的最近の2001年にオランダで発見されたウイルスです。遺伝子的にも、症状的にも、RSウイルスに近いウイルスです。小児のウイルス性呼吸器感染症の5-10%がヒト-メタニューモウイルスによるものとされています。日本においては、3-6月の発生が多く、5歳までに少なくとも1回は感染すると言われています。小児科定点報告の対象とはなっておらず、またこれまでは肺炎を疑ってレントゲンを撮るような場合でないと保険がきいていなかったため、あまり正確な数値は把握されていませんが、少なくとも当科では、ここ1か月くらいよく検出されるようになってきました。

(症 状) 主には咳嗽、鼻汁、咽頭痛、発熱で、軽ければ感冒症状ということになりますが、気管支炎、細気管支炎、肺炎、クループなどにもなり、呼吸困難や全身状態が不良だと、入院になることもあります。一般的には年長児や成人では軽症あるいは不顕性感染で済み、乳幼児や高齢者・免疫不全者では重症な下気道の感染症になる可能性があります。発熱期間の平均は5日間です。

(潜伏期間) 感染してから発病まで、3-6日間です。

(感染様式) 息や咳などが届く範囲の飛沫感染と接触感染です。接触感染するので、こども園や幼稚園さんなどで拡大しやすいです。

(治 療) ウイルスなので、特効薬はありません。症状を緩和させる、対症療法が中心になります。鼻汁が多いことが多く、特に幼少のお子さんでは鼻汁吸引も有効です。呼吸困難が強い場合は、入院の上酸素を使用することがあります。

(合併症) 中耳炎の率が高く、3歳未満のヒト-メタニューモウイルスによる気道感染症患者さんの61%に急性中耳炎の併発が見られたとのフィンランドの調査研究もあります。

(検 査) 検査キットがありますが、これまでは6歳未満で、画像検査により肺炎が強く疑われる患者さんにしか保険が認められていませんでしたが、この4月1日からは胸部聴診所見で肺炎が疑わしければできるように、若干緩和されました。

(予 防) 有効な予防接種はありません。手洗い、うがい、マスクをつける、物の共有を避けるといった、基本的なこととなります。

(ウイルスの残留期間) 気道からは7-14日間に亘り、ウイルスが排泄されます。

(登園などの出席停止期間) 学校保健法の対象ではありません。こども園や幼稚園さんでは、RSウイルス感染症に準じて、「重篤な呼吸器症状が消失し、全身状態が良好であること」としているところが多いです。

(出典: 横浜市衛生研究所 ヒト-メタニューモウイルス感染症について

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/hmpv1.html>)

4月・担当医の変更

10日(火) 赤澤→片桐

14日(土) 片桐→赤澤